

研修名	3)新人助産師合同研修	
開催日時	令和5年7月30日(土)~令和6年1月25日(木)	時間 9:30 ~16:30
受講者数	延べ69名(会員43名・非会員26名)	定員20名
ねらい	(1)県内に就労した新人助産師が、基本的な臨床実践能力を獲得することにより、看護の質の向上及び早期離職防止を図る。 (2)自らが主体的に学ぶ力を育て、継続的にキャリアアップに取り組むことができる。 (3)研修を通して新人助産師間の交流を図る。	
講師	プログラム参照	
内容(キーワード)	プログラム参照	集合講義・演習

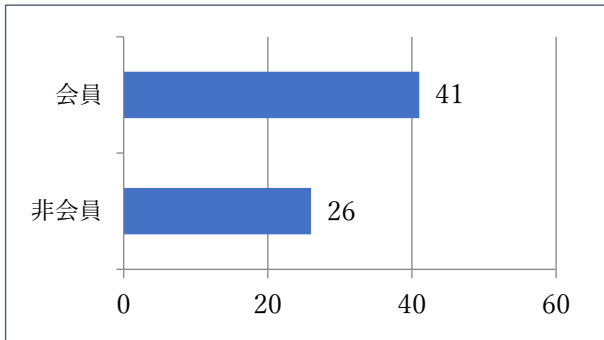
1. プログラム

開催日	テーマ・時間	内容	方法	講師
【公開講座】 7/29(土)	9:30~12:00 CTGによる胎児心拍モニタリングの基礎知識*	CTGによる胎児心拍モニタリングの基礎知識と判読について学ぶ	講義	高知県立あき総合病院 産婦人科部長 池上 信夫
	13:00~15:00 医療安全と助産記録*	医療安全の基本的な知識と法的根拠としての助産記録の在り方を学ぶ	講義	高知赤十字病院 看護師長 眞鍋 敦子
	15:15~16:30 交流会【新卒助産師対象】	他施設の新人助産師と交流	GW	助産師職能委員会
【公開講座】 8/29(火)	10:00~12:00 助産師として災害に備える①	助産師として災害への心構え・災害発生時の初期対応がわかる	講義	高知県立大学看護学部 教授 渡邊 聡子
	13:00~14:50 新生児のフィジカルアセスメントとディプロップメント	フィジカルアセスメントとは新生児をとりまく家族への支援環境調整について	講義	高知医療センター 新生児集中ケア認定看護師 山本 晃子
	15:00~16:30 不妊治療を受けた妊産婦の支援と家族支援	不妊治療を受けた妊産婦・家族への支援を考える	講義	高知医療センター 不妊症看護認定看護師 田淵 良枝
【公開講座】 9/30(土)	9:30~12:30 母乳育児支援の理論と実際	母乳育児の意義・効果について理解できる乳房ケアの実際を学ぶ	講義	香川県助産院ゆるり 助産師 鈴木 佳奈子
	13:30~16:30 助産師として災害に備える②	災害発生時の初期対応のその後	講義	高知県立大学看護学部 教授 渡邊 聡子
【公開講座】 10/28(土)	9:30~12:30 ハイリスク妊産婦の治療と管理	ハイリスク妊産婦の病態について学び、管理について知る	講義	高知大学医学部附属病院 産婦人科 講師 永井立平
	13:30~16:30 社会的ハイリスク妊産婦の看護	社会的ハイリスク妊産婦の看護及び心理的危機に直面した妊産婦と家族の看護について学ぶ	講義	高知大学医学部附属病院 助産師外来 助産師 公文典子
【公開講座】 1/25(木)	9:30~12:00 社会資源を活用した産後の継続支援	産後の家族役割・社会的機能の変化に伴うメンタルヘルス問題を理解し、産後ケア事業等の社会資源を活用した母子への支援について学ぶ	講義	助産院はぐはぐ 助産師 森木 由美子
	13:00~15:00 職業倫理*	助産師の職業倫理について学び、倫理的感応力を高める	講義	高知県立大学看護学部 准教授 嶋岡 暢希
	15:10~16:30 交流会【新卒助産師対象】	助産師としての今後の目標をたてる	GW	助産師職能委員会
6. *CLOCMiP	レベルIII必須研修			

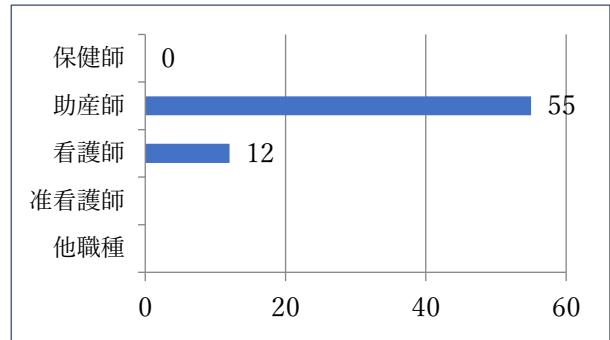
2. アンケート結果 参加者 延 67 名(助産師 55 名 看護師 12 名)アンケート回収率 97.1%

※アンケートは Google ドライブを使用したオンライン上の質問と回答(重複回答したものを含む)

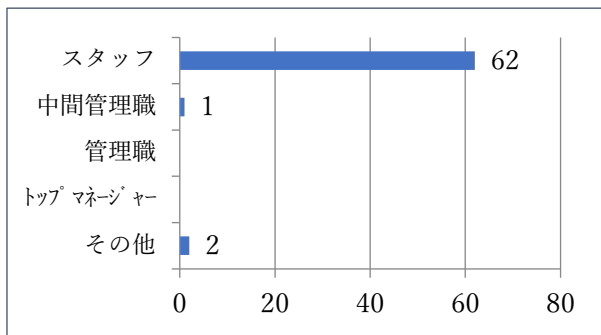
1) 会員の有無



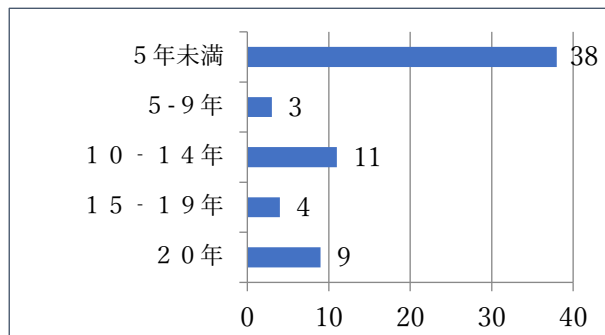
2) 職名



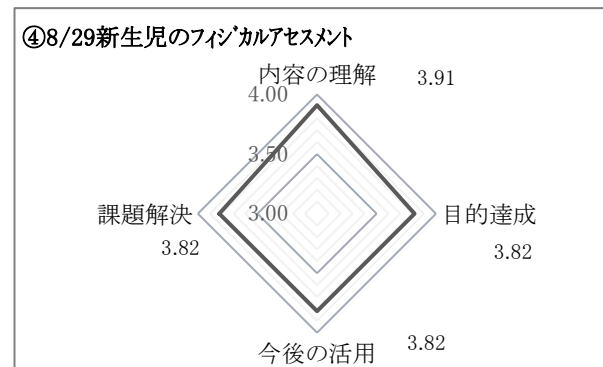
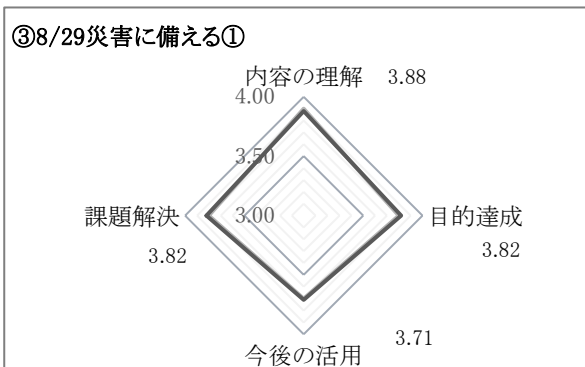
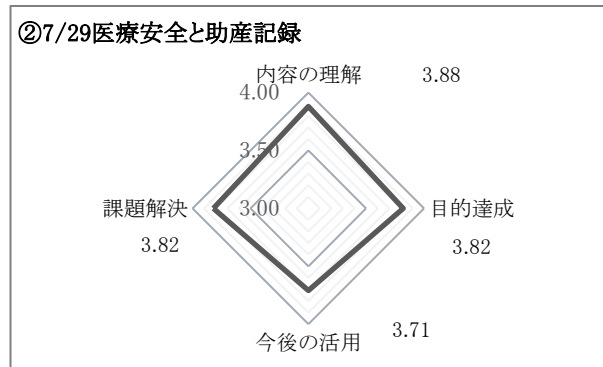
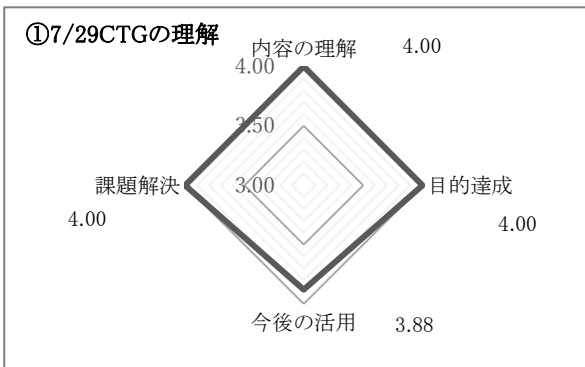
3) 職位

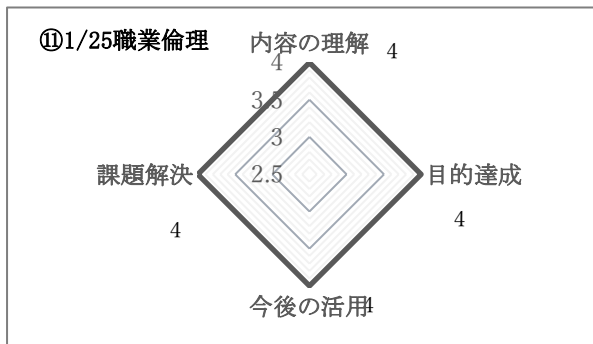
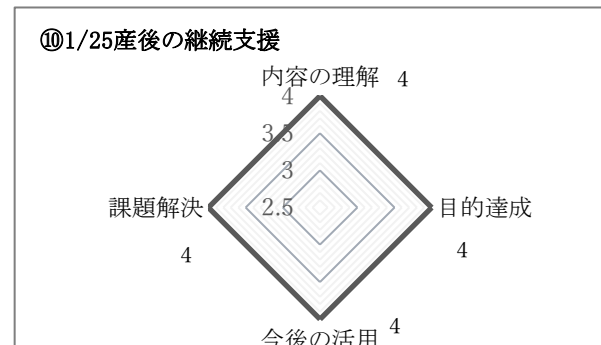
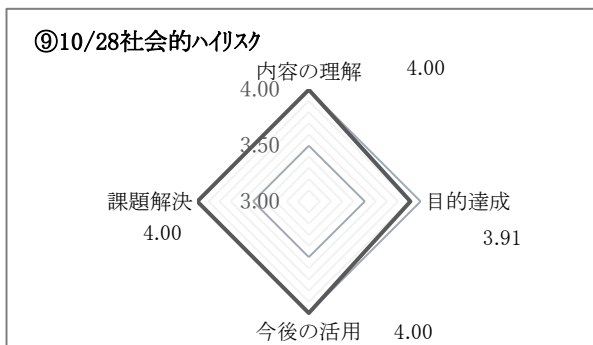
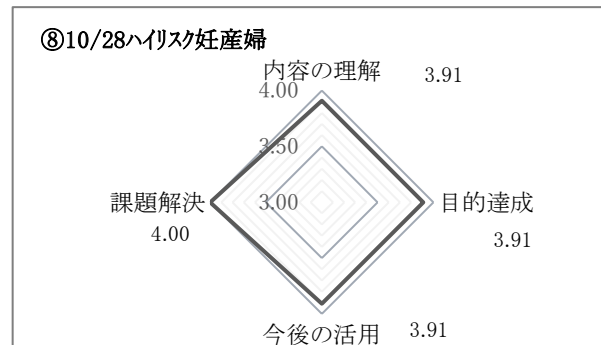
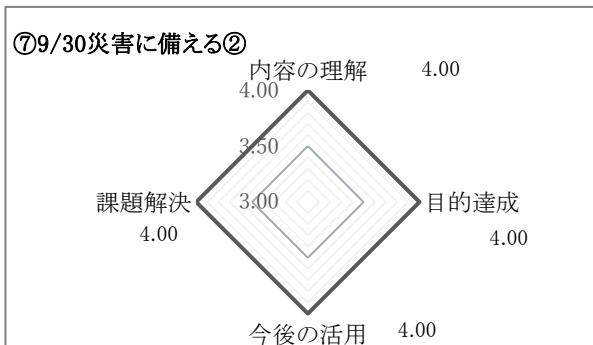
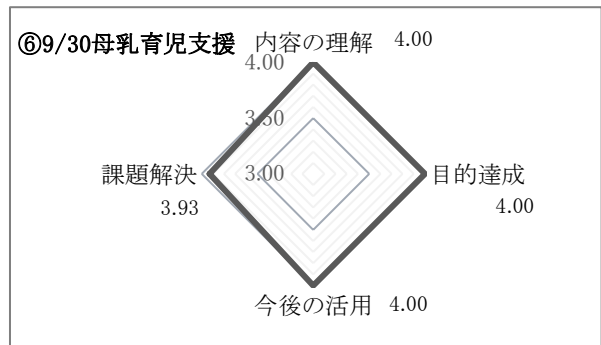
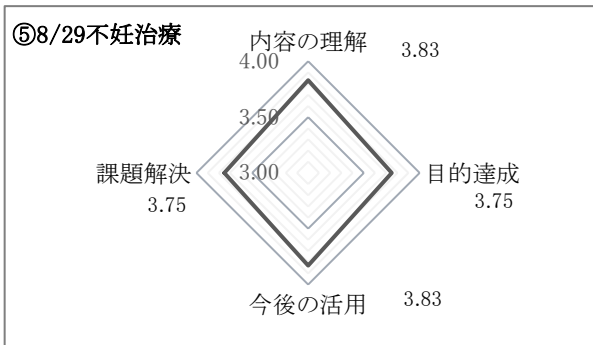


4) 経験年数

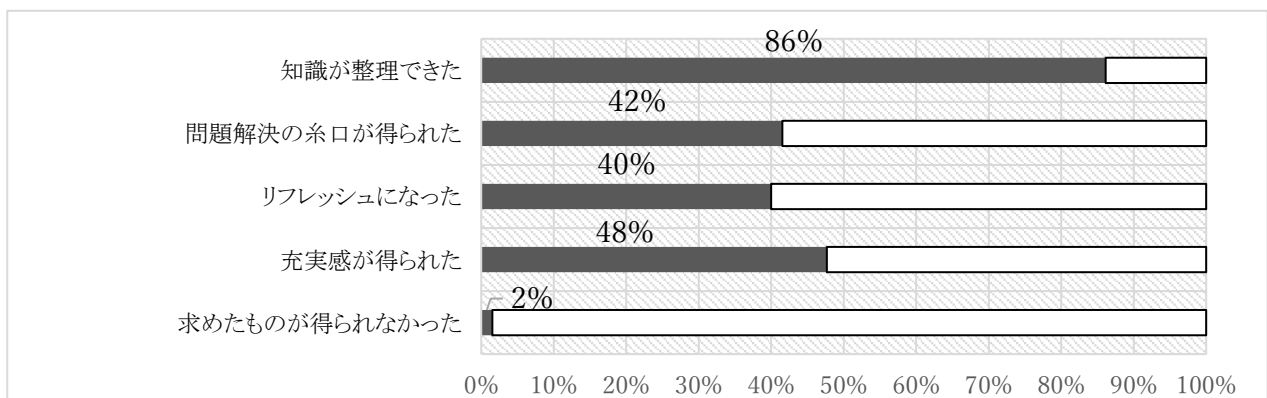


5) 研修成果





6) 感想



3. 研修担当者コメント

延研修受講者67名中29名(43. 3%)が公開講座受講生であった。今年度は全11講座を公開講座とし、内3講座を CLoCMiP レベルⅢ必須研修対象研修とした。これらのことが、新人助産師以外の受講につながったと考える。新人助産師は、38名(56. 7%)が新人助産師であり、新人助産師で全研修受講は、10名中4名(40%)であった。今年度は、全研修集合研修で開催でき、自施設以外の助産師との交流もできた。最終交流会では、この1年でできるようになったことと今後の課題を発表した。研修開始時よりできるようになったことが増え各自進歩したことを認め合っていた。今後も各施設のみならず高知県地域での活躍を期待する。